

ご注文は J R C へ FAX03-3294-2177

シルバー文庫の大活字本

11月下旬発売!

森 鷗外

高瀬舟

文庫判 236 頁 定価 1,200 円 + 税
ISBN978-4-9912544-1-3 C0193

ほか『最後の一句』『山椒大夫』収載!

7 高瀬舟

つた、黙許であった。
当時遠島を申し渡された罪人は、勿論重い科を犯したものと認められた人ではあるが、決して盗をするために、人を殺し火を放ったと云うような、獐悪(どうあく)な人物が多数を占めていたわけではない。高瀬舟に乗る罪人の過半は、所謂心得違のために、想わぬ科(とが)を犯した人であった。有り觸れた例を挙げて見れば、當時相對死と云った情死を謀って、相手の女を殺して、自分だけ活

6

高瀬舟は京都の高瀬川を上下する小舟である。徳川時代に京都の罪人が遠島を申し渡されると、本人の親類が牢屋敷へ呼び出されて、そこで暇乞をするのを許された。それから罪人は高瀬舟に載せられて、大阪へ廻されることであった。それを護送するのは、京都町奉行の配下にいる同心で、此同心は罪人の親類の中で、主立った一人を大阪まで同船させることを許す慣例であった。これは上へ通った事ではないが、所謂大目に見るのであ

森 鷗外 (1862 ~ 1922)

小説家、評論家、翻訳家、陸軍軍医。本名は森林太郎。明治中期から大正期にかけて活躍し、近代日本文学において、夏目漱石とともに双璧を成す。代表作は『舞姫』『雁』『阿部一族』など。『高瀬舟』は今も教科書で親しまれている後期の傑作で、そのテーマ性は現在に通じている。『最後の一句』『山椒大夫』も歴史に取材しながら、近代小説の相貌を持つ。

本文、16ポイントゴシック体使用

* 読書家インスタグラマーも大絶賛! *

「装丁がシンプルでかっこいい」「大活字本でこのサイズ、軽さ、装丁はすごい」
「久しぶりに読みましたが字が大きいこともあり読みやすく楽しく読めました」

* 高齢の方へのプレゼントにも好評! *

「私の祖母もこれなら気軽に読めると大満足でした」
「高齢の方だけでなく小学生にも年代幅広くオススメ」

FAX 03-3294-2177 J R C 宛

貴店番線印	御注文数	書名
		シルバー文庫 も 1-1 大活字本 高瀬舟 森 鷗外 著 2022 年 11 月下旬刊行 定価 本体 1,200 円 + 税 ISBN978-4-9912544-1-3 C0193
ご担当者	様	

すべての取次からご注文可能です (JRC 経由)。 ※返品は長期に承ります (返品条件付き注文扱い)